

序 文

聖徳宗管長・法隆寺住職 大野玄妙

法隆寺に関する書物は毎年多数出版され、その内容も美術・建築・考古・文学・思想など広い分野に互っている。しかし、古代・中世・近世といった時代区分においては、それぞれ分離して、別個に執筆されているのがその殆どである。特に近年出版されたものの中には、独断や偏見に囚われて、興味本位に論理を展開させたり、或いは一面・一部の言及で総てを語るかのような錯覚を与えるものも少なくない。このような時、法隆寺の総ての時代を、一貫した計画のもとに記述した歴史書が望まれ、またその必要性に逼られている今日、『法隆寺史』を刊行する意義は非常に大きいものといえる。

法隆寺は聖徳太子によって建立され、その歴史は創建以来一千四百年に及んでいる。人々の幸福と平和社会の実現を願われた太子は、『十七条憲法』において「和を以て貴しとす」と、仏法による和の精神、和合協調の道を説かれ、善人が多く集う、慈悲に満ちた国造りを目指されたもので、この太子の理想を実行し、敷衍するための拠点として法隆寺は建立されたのである。

また法隆寺は、再建・非再建の議論はあるものの、一千三百年以上の年月を通じて戦禍や自然災害を受けなかったことも、他に類の無い大きな特徴となっている。そして、その間の各時代・各分野に互る伝統や歴史的遺産が、途切れることなく、活きた状態で伝承され、それらが今、様々な分野の歴史を窺

い知る上で貴重な役割を果たしている。

ただ単に古いということだけではなく、法隆寺に伝わったこれらの遺産は、その殆どが太子信仰の賜物といっても決して過言ではない。太子のご精神とともに、太子信仰に関わる多くの遺産が、物心両面に互って引き継がれてきたのである。創建から現在に至る法隆寺の歩みや在り方を辿ることによっても多くの得るものがあるのではないだろうか。

永い歲月の中で、法隆寺の歴史の推移もまた人の人生と同じように、時流の影響を受け、存亡に関わる危機的時期や状況に幾度となく直面し、その都度、多くの先徳・先人たちの努力によって乗り越え、克服して今日に至ったものである。法隆寺の歴史は、太子から受け継いだ遺産を守り伝えるために間断なく努力を続けてきた、信仰に支えられた多くの人々の歴史でもある。太子の建立目的を承け、そのご精神に従い布め、そのための活動を継続しつづけることにこそ、法隆寺の真義がある。

法隆寺の歩みを通して、これが社会の近い将来において、平和構築のための一助となれることを心から願う次第である。

編纂にあたって

法隆寺史編纂委員長 鈴木嘉吉

『法隆寺史』の編纂は昭和五十六年から着手した『昭和資財帳 法隆寺の至宝』全十五巻の刊行が、ようやく最終段階となった平成九年に発足した。それは『昭和資財帳』編纂のための調査によって所期の予想をはるかに上廻る宝物の新発見があり、寺の歴史との関連を見直すさまざまな問題が生じたこと、昭和初年に荻野三七彦氏が整理されて以来ほとんど手つかずだった古記録・古文書等についても再調査によって順次目録が完備してきたこと、天平時代の資財帳は「法隆寺伽藍縁起并流記資財帳」とあって本来歴史と宝物が一卷に記録されているのに「昭和資財帳」だけでは前半が欠けてしまつて残念だなど、寺史編纂の条件が整ったことによつてゐる。当時管長は高田良信師であつたが師は早く『法隆寺子院の研究』や『法隆寺日記をひらく』など、従来あまり注目されなかつた近世・近代の寺の歴史に光をあてる著書によつて、歴代の寺僧たちが寺に伝わるものすべてを聖徳太子に係わる遺産として、いかに懸命に保存する努力を重ねてきたかを強く世に訴えてこられた。その点で創建から現代まで一貫した寺の歴史書の編纂を常々希望されていたのが、ようやく機会を得ることになったのである。

実際、法隆寺はその宝物の多さと共に関連する書物や論文の多さも恐らく日本一となる寺であろうが、一貫した詳細な寺史は未だ書かれていない。これには対外的に活躍した寺僧がほとんど出なかつたとか、幸に兵火などの災害もなく歴史の波瀾に乏しかつたとか、いろいろな理由があげられる。宝物の多さに比べて古代・中世の古文書類が比較的少いこともその一つとならう。しかし寺には江戸時代の「年会日次記」や明治以降の「寺要日記」など膨大な歴史記録や資料が残されている。前述の高田師の著書はその一部を紹介したに過ぎない。編纂委

員会ではこうした点を考慮して通史編を上（古代・中世）、中（近世）、下（近代）の三巻に取まとめることとした。法隆寺といえば既刊の書物や論文がほとんど古代に集中していることからすると意外の感を抱かれる向きもあるが、寺の歩みをできるだけ生々と画きたいためにほかならない。明治初期の廃仏毀釈の嵐の中で多数の宝物を皇室に献納し、その報償の御下賜金で伽藍の荒廃を防いだことは広く知られているが、近世にも遠く江戸までの出開帳や勧進でようやく修理費用を調達する寺僧たちの活動があつて今日の法隆寺が存在するのである。

平成十一年、永年の懸案であつた百済観音堂新宝蔵が前年めでたく落成したのを機に、住職の座が現管長にバトンタッチされ、寺史編纂の事業も体制を一新・強化して一層の推進が図られることとなつた。寺史編纂室はそれまで昭和資財帳編纂の史料整理を引き継ぐ形で聖徳会館内に設置されていたが本坊の一角に移され、目録作成対象も近世・近代の史・資料に拡大された。昭和資財帳の時には手を伸すことができなかった本坊鶴文庫内の史料や収蔵庫に収める昭和大修理関係の文書・図面などの整理、目録作りも精力的に進められた。各巻の執筆担当者も確定して以後は定期的に編纂会議を開き、分担する史料整理の進行状況を相互に確認する体制が整えられた。これらはすべて現管長大野玄妙師の熱意によるものである。

寺史は通史編（三巻）、寺史年譜（三巻）、史料編（三・四巻）で計画されている。編纂の初期の段階ではないずれを先行させるか意見が分れる時もあつたが、専門家だけでなく多くの人々に寺の歴史を知って頂けるように、まず通史編上・中・下三巻を刊行することとした。途中で執筆者の交替があり、刊行が大幅に遅れてその間に早く念校まで目を通した森郁夫氏が逝去される非運も生じたが、ようやく上巻を上梓するに至つた。中・下巻についても今後ほぼ一年ごとに公刊できるよう準備を進めている。辛抱強く長期間の編集作業に当られた思文閣出版の方々に深く感謝すると共に、今後なお一層のご尽力をお願いしたい。

序文	聖徳宗管長・法隆寺住職 大野玄妙
編纂にあたって	法隆寺史編纂委員長 鈴木嘉吉

序章 斑鳩の地理的環境と歴史的環境

1 斑鳩の地理的環境	3
2 斑鳩の歴史的環境	9

第一章 聖徳太子と斑鳩宮

第一節 聖徳太子と太子をめぐる人々	15
1 聖徳太子と上宮王家	15
2 上宮王家を支えた人々	26

第二節	斑鳩宮の造営	32
-----	--------	----

1	聖徳太子の宮	32
---	--------	----

2	斑鳩宮跡の発見	35
---	---------	----

3	二時期に分かれる斑鳩宮跡	38
---	--------------	----

4	鮑波葦垣宮	43
---	-------	----

第三節	太子道と斑鳩の地割	44
-----	-----------	----

1	河内と斑鳩・飛鳥を結ぶ古道	44
---	---------------	----

2	斑鳩の方格地割と斑鳩寺の立地	52
---	----------------	----

第二章 法隆寺の創建

第一節	法隆寺の創建	63
-----	--------	----

1	法隆寺再建・非再建論争	63
---	-------------	----

2	若草伽藍跡の発掘	66
---	----------	----

3	若草伽藍の軒瓦	75
---	---------	----

第二節	法隆寺の火災と再建	82
-----	-----------	----

1	天智九年の火災	82
---	---------	----

2	再建された伽藍	83
---	---------	----

第三節	中宮寺・法起寺・法輪寺と法隆寺	91
-----	-----------------	----

1	中宮と中宮寺の建立……………	91
2	岡本宮と法起寺の建立……………	94
3	法輪寺の建立……………	98
第四節	法隆寺系の地方寺院……………	102
1	法隆寺式軒瓦……………	102
2	法隆寺式軒瓦をもつ地方寺院……………	109
3	法隆寺式伽藍配置の展開……………	112
第五節	法隆寺と播磨国……………	115
1	播磨国の水田一〇〇町施入……………	115
2	平群郡夜麻郷と播磨国の山部……………	120
第六節	初期の法隆寺関係史料……………	124
1	金堂薬師像と釈迦三尊像の光背銘……………	124
2	金堂釈迦三尊像の台座墨書……………	133
3	『日本書紀』と『上宮聖徳太子伝補闕記』の火災記事……………	135
4	幡の墨書銘にみる氏族と信仰……………	138
コラム	金堂の天蓋・須弥壇修理による新知見……………	142

第三章 西院伽藍と東院伽藍

第一節 西院伽藍の完成……………144

1 西院伽藍の完成と律令国家……………144

2 律令国家の大寺としての法隆寺の発展……………151

第二節 東院の創建……………162

1 行信・光明皇后と法隆寺……………162

2 東院の創建と法隆寺……………175

第三節 天平資財帳の世界……………187

1 西院伽藍と『法隆寺伽藍縁起并流記資財帳』……………187

2 東院伽藍と『上宮王院伽藍縁起并流記資財帳』……………192

第四節 残っていた百万塔……………198

1 法隆寺と百万塔……………198

2 百万塔の墨書銘……………202

第五節 太子信仰の高まり……………210

1 聖徳太子観の変遷……………210

2 太子崇拜と再建法隆寺……………214

3 奈良時代の法隆寺と慧思後身説……………217

第六節	『法隆寺資財帳』にみる経済的基盤	226
-----	------------------	-----

1	東国の乳部と食封	226
---	----------	-----

2	寺領水田・蘭地と庄倉	230
---	------------	-----

3	寺領の山林岳鳴・海・池	238
---	-------------	-----

第四章 聖徳太子信仰と子院の成立

第一節	法隆寺僧善愷訴訟事件と九世紀の法隆寺	244
-----	--------------------	-----

1	法隆寺僧善愷訴訟事件	244
---	------------	-----

2	法隆寺と天台宗——善愷訴訟事件と法隆寺	250
---	---------------------	-----

3	東院の復興と官大寺からの脱却	256
---	----------------	-----

第二節	太子信仰の発展	260
-----	---------	-----

1	太子伝の展開	260
---	--------	-----

2	平安仏教と子院の成立	262
---	------------	-----

3	法隆寺一切経書写と聖霊院造営	275
---	----------------	-----

第五章 南都の興隆と法隆寺

第一節	武家政権の登場と法隆寺諸衆	280
-----	---------------	-----

1	鎌倉幕府の成立と法隆寺	280
---	-------------	-----

2	別当と寺門……………	288
3	寺内諸衆と聖徳太子……………	294
第二節	法隆寺の興隆と南都世界の活況……………	301
1	南都仏教と法隆寺……………	301
2	中世法隆学問寺の興隆と勝鬘会興行……………	309
3	南都仏教の中の法隆寺……………	314
第三節	法隆寺の経済的基盤……………	342
1	田畠の寄進と所領の形成……………	342
2	鎌倉時代の所領荘園……………	348
3	法隆寺領播磨国鶴荘……………	353
第六章	法隆寺の「寺中」と「寺辺」……………	
第一節	寺内組織の変遷……………	360
1	『法隆寺縁起白拍子』と『寺要日記』……………	360
2	法隆寺の多彩な諸衆……………	373
3	寺院諸衆の紛争と対立……………	380
4	寺院規式の制定と編纂……………	393
第二節	法隆寺と寺辺……………	401

1	『嘉元記』にみえる犯罪と検断	401
2	法隆寺と東西両郷	410
3	雨乞い祈禱と用水池	415
第三節	法隆寺と寺領	422
1	法隆寺とその周辺	422
2	播磨国鰯荘の展開	425
第七章	法隆寺の中世的世界	
第一節	室町戦国期の動向と法隆寺	433
1	法隆寺と大和国内の動向	433
2	建築物の変遷	437
第二節	中世の造形と太子信仰	444
1	太子信仰と毘沙門天信仰の接点	444
2	太子信仰と平安仏画	453
3	太子信仰と鎌倉時代絵画(その一)	458
4	太子信仰と鎌倉時代絵画(その二)	466
第三節	中世の瓦生産	478
1	修理工事と瓦生産	478

2 法隆寺の中世瓦・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・481

索引(人名・事項)

図表・略称一覧

執筆者紹介・執筆担当

	り	蓮池図(法隆寺)	475
龍池	416, 417	ろ	
堅義論義	311, 370	六道山古墳	10
令	159, 228, 233	わ	
『梁塵秘抄』	470	若草伽藍	15, 21, 22, 52, 55, 57, 65~69, 70~81, 83, 85, 107, 108, 113, 144, 146, 215, 257, 260
兩部大經感得図(内山永久寺旧蔵)(藤田美術館)	457	——創建瓦	75~78
る		——塔心礎	65~67, 73, 74, 360
『類聚三代格』	184, 251	倭京	49
れ		和田廃寺	41
『列子』	452	『和名類聚抄』	49, 120, 122, 229, 251

も

本元興寺 244→飛鳥寺
 本薬師寺 98→薬師寺(藤原京)
 文殊 87, 302, 325, 335, 541, 469, 470, 474
 文殊院西古墳 33
 文殊院東古墳 33

や

楊生(柳生)莊<大和> 344, 352, 353
 薬師三尊像(薬師寺) 478
 薬師寺(藤原京) 62, 215→本薬師寺
 薬師寺(平城京) 98, 145, 161, 170, 182~
 184, 187, 199, 209, 215, 230, 235, 244, 245,
 260, 264, 266, 267, 271, 276, 281, 282, 305,
 310, 312, 313, 336, 435, 444, 445
 ——念仏堂 348
 薬師十二神将像(高野山桜池院) 478
 薬師如来坐像(法隆寺西円堂) 155, 334
 薬師如来像(法隆寺金堂) 52, 86, 124~
 127, 129, 135, 143, 214, 215, 466, 467
 ——光背銘
 22, 52, 62, 78, 86, 124~127, 129, 135
 薬師如来像(法隆寺食堂) 331
 野州(洲)莊<近江> 349
 八部の路 46
 山階寺 229→興福寺
 山背(国) 246
 ——宇遲郡 31
 ——桂之御領 345
 ——紀伊郡 227
 山背王(像)(法隆寺聖霊院) 450
 山城実相院文書 351
 『山城国風土記』 227
 山田寺 57, 89, 90, 99, 108, 285
 ——式軒瓦 96, 103, 108, 109
 山田寺仏頭(興福寺) 285
 大和永享の乱 436
 大和(倭)国 8, 27, 44~46, 48, 49, 57, 61,
 95, 105, 108, 122, 167, 182, 236, 238, 241,
 255
 ——飽波評(郡) 44, 141
 ——宇陀郡 27
 ——城下郡 49

——三宅郷 49
 ——添上郡 236, 342
 ——添下郡 343
 ——菅原郷 342
 ——菅原郷深川 239
 ——登美郷 251
 ——高市郡 106, 108
 ——十市郡 31, 49
 ——池上郷 32
 ——広瀬郡 108
 ——平群郡 10, 44, 49, 61, 120, 122,
 124, 141, 233, 256, 264, 342, 343
 ——飽波郷 43, 120
 ——坂門(戸)郷 120, 240, 241, 342
 ——那珂郷 120
 ——額田郷 120
 ——平群郷 120
 ——平群里 240
 ——屋部郷 238, 239, 342
 ——夜麻郷
 120~122, 141, 239, 240
 ——山部郷 121, 141
 大倭国金光明寺 182, 191→東大寺
 大倭国正税帳 49
 大倭屯倉 49
 山村廃寺 108

ゆ

『維摩経義疏』 223, 252
 『維摩経疏菴羅記』 338
 結崎莊<大和> 349, 352
 弓削莊<河内> 313, 345, 349, 350, 353, 381
 由義宮 43
 湯ノ町廃寺 110

よ

横大路 8
 横田莊<大和> 352
 吉田文書 61
 芳野 174

ら

洛陽 166

419, 424, 435, 441, 442, 479, 482	
法隆寺别当次第(别当次第)	285, 287, 312, 343, 446, 451, 460, 464, 467, 471~473
法隆寺别当補任寺役次第	364, 383
『法隆寺宝物和歌』	342
法隆寺村桜池水論治定絵図	411, 412
法隆寺文書	61, 266, 272, 274, 275, 283~286, 332, 347, 350, 351, 365, 375, 377~379, 383, 390~393, 395, 399, 414, 415, 417, 419~421
法隆寺良訓補忘集	281, 287→『法隆寺記補忘集』
法隆寺領播磨国鵲莊絵図	353
——(嘉暦4年図)	116~120, 332, 353, 356~359, 425
——(至徳3年写図)	353, 358, 425
法輪寺	12, 62, 83, 91, 98, 99, 101~103, 107, 134, 215, 219, 239, 351, 457→三井寺
——の軒瓦	99, 100
法琳寺	239→法輪寺
法林寺<山城>	192
北斗曼荼羅(星曼荼羅)	455, 456
北斗曼荼羅甲本(法隆寺)	453~456
北斗曼荼羅乙本(法隆寺)	453, 455, 456
『補闕記』	19, 24, 25, 28, 30, 44, 51, 82, 83, 98, 135~138, 261, 475
菩薩面(観音面)(法隆寺)	448
法華会	169, 170, 270
『法華儀軌』	458
法華義疏	172, 173, 181, 214, 223~226, 252, 278, 315
法華(花)寺	182~184, 199, 235, 260, 281, 349
『法花疏慧光記』	338, 339
法華曼荼羅(法隆寺)	453, 457
法相曼荼羅(法隆寺)	476, 477
法相曼荼羅(法隆寺三経院)	315, 324, 464~466
仏塚古墳	9, 10, 12
本願太子	300
梵釈寺	244
梵天山古墳群	12

ま

松尾寺	460
松喰鶴蓬萊山時絵袈裟箱(法隆寺献納宝物)	452
真土山	49
万灯会供養	472
『万葉集』	3, 46, 49~51

み

三井	99
——池	239→濁池、氷室池
——瓦窯	10
——古墳群	12
三井寺(園城寺)	342
三井寺	83, 136→法輪寺
『密教占星法』	457
弥奈刀川<撰津>	234
南の横大路	45
『峯相記』	332, 357
峯寺	454
美濃	227
三室山	9, 241
三宅道	50
『明一伝』	213
妙教寺	83, 136, 137
弥勒	87, 95, 148, 168, 302, 308, 324, 337, 465, 466, 477
弥勒菩薩像(宝山寺)	477
弥勒菩薩像(法隆寺)	477
『民経記』	349

む

迎講	264, 266, 268
『無垢浄光大陀羅尼経』	199, 208
武庫湊<撰津>	236
武蔵七党村山党	355
武蔵国造	29
陸奥国小田郡	235

め

『明月記』	476
-------	-----

中花園 360, 424→花園院
 南大門 58~60, 71, 272, 384, 387, 388,
 438, 440, 443, 479, 483, 485, 486, 423,
 447, 488
 西室(僧房) 59, 74, 274, 322, 331, 438,
 441, 442, 480, 486
 西門 447
 橋(之)坊 438, 487
 花園院(中花園) 360, 361, 438
 東花園院 442
 東室(僧房) 59, 70, 74, 90, 245, 274,
 277, 437, 440, 441
 東室大房 451
 福園院 438
 福生院 438
 仏餉院 438
 普門院(東花園) 64, 66, 361, 438
 遍照院 438
 宝光院 338, 339
 宝珠院 59, 438, 443
 宝蔵院 438
 北東院 404
 細殿 438, 440
 法華院 438
 法性院 443
 堯志院 438
 明王院 438
 妙音院 438
 弥勒院 438
 文殊院 438
 薬師坊庫裡 438
 律学院 70, 438
 蓮光院 438, 479, 482
 蓮城院 405~408, 410, 434, 443
 蓮池院 438
 法隆寺一切經 186, 187, 275~277, 441, 449, 451
 『法隆寺縁起白拍子』 154, 326, 360, 361,
 363~365, 370, 371, 397, 424, 450
 『法隆寺置文契狀等大要抄』 328, 364, 376, 381, 395, 398
 (法隆寺)火災 15, 63, 64, 71, 82, 83, 86,
 90, 99, 121, 135~138, 144, 146, 149
 『法隆寺伽藍縁起并流記資財帳』

→『法隆寺資財帳』
 『法隆寺記補忘集』 35, 151, 281, 287
 法隆寺献納宝物(東京国立博物館)
 62, 93, 138, 151, 152, 194, 269, 452, 459
 法隆寺献物帳(法隆寺献納宝物)
 184, 185, 240
 法隆寺五師 264, 269, 276, 277, 283, 395
 法隆寺五師成業 297
 ——五重塔舍利莊嚴具(舍利容器)
 65, 87~89
 法隆寺再建・非再建論争
 15, 63~65, 82, 135, 146
 『法隆寺雜記』 472
 法隆寺三綱 188~190, 196, 235, 283, 286,
 297, 320, 342, 384
 ——寺主 188, 373
 ——上座 188, 373
 ——都維那 188, 373
 法隆寺式伽藍配置 101, 112, 114, 216
 法隆寺式軒瓦 99, 102, 103, 105~111, 237
 『法隆寺資財帳』(『法隆寺伽藍縁起并流記
 資財帳』) 29, 31, 48, 74, 87, 90, 91, 95,
 109~111, 115~118, 124, 141, 142, 146
 ~149, 152, 157, 159, 161, 164, 169, 173,
 177, 179, 187~192, 196, 218, 226, 228,
 230, 232~236, 238~240, 245, 342, 351,
 353, 439~441
 法隆寺小(少)別当 291~293, 295, 297,
 314, 316, 317, 373, 382~388, 401, 430,
 449, 466
 『法隆寺東院縁起』→『東院縁起』
 法隆寺東西(両)郷 379, 405, 409~414,
 416, 419, 423~425, 433
 法隆寺年会五師 297, 427
 法隆寺花山龍池縁起 417
 法隆寺別当 193, 259, 263, 266, 271, 282,
 288~295, 297, 300, 309, 310, 313, 314,
 325, 328, 345, 350, 353, 373, 380, 381, 383
 ~388, 395, 401, 410, 419, 429, 446, 456
 『法隆寺別当記』(『別当記』) 94, 115, 181,
 239, 256, 258, 260, 274, 277, 278, 282, 285,
 289, 291, 293, 295, 310, 314, 322, 328, 330,
 333, 335, 336, 343, 345, 346, 350, 351, 353,
 364, 373, 383, 385, 388, 389, 397, 410, 417,

—鐘樓 74, 90, 437, 439, 440
 西円堂 59, 154~156, 333~335, 362, 371, 372, 438, 440, 441, 481
 西園院 438, 442, 443
 西大門 52, 56, 59, 272, 387, 438~440
 西南院 404, 438
 西福院 443
 西方院 438
 三経院 268, 274, 275, 315, 322, 324, 345, 348, 351, 362, 363, 370, 438, 440~444, 449, 464, 479
 食堂 59, 437, 440, 484, 485
 地藏院 438, 443
 実相院 66
 十方院 438
 持宝院 438
 正学寺 438
 上宮大院 16, 35, 144, 192, 193, 210, 277, 289, 294, 295, 298, 299, 304, 305, 307, 310~313, 315, 323, 329, 330, 344, 345, 352, 363, 370, 376, 399, 413, 415, 416, 460, 472, 473→法隆寺東院
 清浄院 438
 松立院 404, 438, 443
 聖霊院 70, 90, 245, 275, 277, 278, 293, 296, 300, 308, 313, 320, 327, 348, 362, 363, 370, 376, 384, 415, 416, 425, 438, 440, 441, 444, 452, 463, 473, 483~485
 新堂 438
 政蔵院 438
 政南院 438, 443
 善住院 438
 宗源寺 275, 438, 443
 大宝蔵院 70
 橘坊 438
 多聞院 438
 知足院 438
 中院 404, 438, 443
 中道院 443
 中門 36, 59, 60, 71, 72, 74, 84, 85, 89, 90, 146~148, 415, 416, 424, 437, 439, 440, 479
 椿蔵院 438
 築地 438, 479

妻室 437, 440, 485
 大講堂・講堂 70, 74, 83, 85, 90, 260, 263, 264, 267, 271, 310, 312, 333, 334, 336, 362, 384, 386, 437, 440, 449, 479
 東院(伽藍) 6, 15, 16, 26, 35~37, 39, 42, 59, 61, 91, 144, 145, 153, 156, 162, 168, 169, 173, 175~182, 184~186, 192, 193, 197, 210, 212, 214, 217, 219~223, 226, 235, 244~246, 256~261, 263, 269, 270, 274, 275, 277, 285, 289, 300, 301, 305, 306, 313, 316, 317, 322, 329, 330, 345, 371, 384, 441, 443, 444, 479, 484, 487
 —繪殿 35, 36, 93, 257, 267, 299, 300, 306, 438, 441, 442, 446, 447, 459, 466, 470
 —大垣 438
 —回廊 35, 36, 257, 438
 —北室・北室院 329~333, 335, 338, 438, 443
 —北室院太子殿 59
 —四脚門 52, 438
 —七間亭・七間宝蔵・七丈屋 36, 278, 305, 306
 —舍利殿(堂) 35, 36, 257, 279, 294, 300, 305~307, 327, 331, 342, 416, 438, 441, 442, 460, 461, 472, 475
 —鐘樓 438, 441
 —伝法堂 35, 36, 257, 416, 437, 481, 486
 —南門 59, 438
 —宝蔵 257, 278, 452→舍利殿
 —夢殿(八角円堂) 36, 52, 53, 59, 60, 156, 176, 177, 192, 223, 257, 266, 267, 270, 279, 294, 296, 305, 306, 314, 315, 371, 437, 442, 445, 472, 479, 480, 482
 —夢殿寛喜2年棟札 294~298, 299, 309, 314, 377, 378, 414, 480
 —礼堂(中門) 35, 36, 59, 89, 90, 257, 294, 416, 438, 441, 442, 479
 —の軒瓦 176
 東住院 438
 東蔵院 438
 東大門 52, 53, 56, 59, 60, 70, 272, 274, 275, 315, 387, 416, 437, 439, 487

善明寺	263
扶余	80
古宮遺跡	41
不破関	227
豊後	122

へ

平安京	119, 183, 185, 261
平絹幡残欠(法隆寺献納宝物)	121, 152, 153
平城宮	34, 150, 161, 164, 168, 208, 209
平城宮跡出土木簡	122, 123
平城京	34, 44, 46, 61, 98, 106, 119, 144~146, 148, 156, 158, 165, 166, 168, 174, 182, 191, 215, 219, 244
——右京	238
——一条四坊	242
——九条二坊	237, 238
——旧京	245
平隆寺	93, 103, 104, 107
平群河(川)	46, 240, 241→竜田川
——寺	104→平隆寺
——里	48
『别当記』→『法隆寺别当記』	
别当次第→法隆寺别当次第	

ほ

『法王帝説』	19, 23~25, 89, 96, 116, 133, 212
伯耆	122
法起寺	10, 25, 42, 52, 53, 91, 94~98, 103, 107, 215, 219, 239, 454→岡本寺
——式伽藍配置	97, 105, 431
——塔露盤銘	18, 20, 95, 97, 210, 211
——の軒瓦	96
放光寺	147→片岡大寺
法興寺	22, 145→飛鳥寺
『放光寺古今縁起』	193
勝示石	357, 358
法住寺捌相殿(韓国)	73
法成寺	270
坊別並僧別納帳	443
法隆寺	
阿弥陀院(西花園)	361, 438
安養院	438
円成院	438, 442

円明院	279, 438
大湯屋	285, 438, 479
——表門	438
——襲撃事件	291
——峰起	385
上御堂	
85, 263, 333~335, 362, 438, 440, 441	
瓦坊	443
観音院	438
喜多院	438
北御門房	442
北室(僧房)	260, 335
経蔵	74, 90, 437
賢聖院	438
興蘭院	443
綱封蔵	59, 60, 245, 328, 395, 427, 429, 437, 440, 450
五重塔・塔	16, 22, 59, 60, 64, 69~71, 73, 74, 83~85, 87, 92, 98, 146~148, 437, 440, 444, 479, 484
——心柱	16, 22, 65, 85, 87
——塑像(塔本塑像)	87, 148
——壁画	87, 466
護摩堂	438
金光院	272, 274, 275, 348, 376, 442, 443
——三味堂	348
金剛院	404, 438
金堂	59, 60, 64, 70~73, 83~87, 90, 97, 125, 127, 133, 142, 143, 146, 147, 214, 215, 266, 271, 272, 315, 322, 344, 345, 369, 384, 437, 440, 444, 449, 466, 467, 469, 479, 484
——天蓋	86
——壁画	86, 87, 454, 466, 469
西院(伽藍)	15, 16, 22, 25, 52, 59~62, 65, 68, 72~74, 83~85, 87, 92, 97, 102, 103, 112, 144~150, 154, 161, 162, 173, 187, 188, 192, 210, 215, 216, 222, 226, 244~246, 259, 260, 277, 300, 301, 312, 316, 317, 321, 371, 408, 439~441, 443, 444, 484
——大垣	438
——回廊	59, 60, 70, 83, 85, 89, 90, 147, 389, 425, 437, 439, 440

尼寺廃寺	74
仁和寺	264, 289, 455
仁王会	141~143, 146, 164, 165

ぬ

額田部	7, 218
-----	--------

ね

涅槃会	370
年輪年代測定	16, 22, 84, 85, 142, 143, 147

の

野口廃寺	111
------	-----

は

蜂岡(丘)寺	83, 99, 136, 188, 227
早川荘<相模>	229
林田川	357, 359
播磨(国)	22, 53, 111, 115, 122, 124, 235, 238
——明石郡	236, 237
——印南郡	29, 124, 242, 349
——揖保郡	30, 116, 124, 242, 342, 343, 353
——大市郷	120
——桑原郷	355
——佐々山池	111
——佐西地	115
——林田郷	111, 117, 119, 228, 230, 342
——枚方里	116, 119
——広山里	116
——賀古郡	29, 181, 235, 237
——印南野	29
——賀茂郡	124
——飾磨郡	124, 242
——宍粟郡	124
——安師里	123
——柏野里(郷)	123
——比治里	123
——山守里	123
——多珂郡賀美郷	124
——那珂郷	123
『播磨国鵠庄御寺務方年貢算用状』	429
『播磨国風土記』	116, 117, 119, 123

繁昌廃寺	111
般若寺	335
幡墨書銘	62, 121, 138~141, 151~153, 240

ひ

東郷(東里)	409~412, 414, 416
肥後国葦北津	78
樋崎古墳群	12, 239
毘沙門天	444, 448, 449, 451~453, 458, 459, 461~463, 474, 478
毘沙門天像(画像)(法隆寺)	475, 476
毘沙門天像(彫刻)(法隆寺金堂)	266, 271, 272, 448, 449, 466
氷室池<大和>	239→濁池、三井池
百万塔	145, 183, 198~204, 206~209
——陀羅尼	199~201
——墨書銘	200~207, 209
広瀬社	107, 150
——河曲	107
『弘山庄実検絵図』(天明8年写)	359
弘山荘(播磨)	358, 359, 425
琵琶谷池	419, 421
備後国深津郡	237

ふ

深草	227, 263
——屯倉	227
福貴寺	258
福井	486
深日行宮	242
深日浦	242
藤ノ木古墳	9, 11, 12
伏見稲荷社	227
藤原宮	14, 480
藤原宮跡出土木簡	123
藤原京	49, 62, 145, 148, 187, 191, 215
豊前	122
『扶桑略記』	6, 42, 44, 452
不退寺	281
仏経并資財条	193, 196, 235→『東院資財帳』
仏舍利	305~307, 320
『仏舍利縁起』	102
仏生会	267, 271, 370
船息院・尼院	234

天神山瓦窯 111
 天台高僧像(一乗寺) 462
 天台宗系山門・寺門 282
 『天台法華宗付法縁起』 262
 天王寺 284→四天王寺
 天王寺<播磨> 383
 天満池 7,53,419,421
 天満講談義 360,424

と

唐
 144,166,172,212,213,217~219,221,224
 『東院縁起』(『法隆寺東院縁起』) 37,169,
 170,176~178,193~195,198,257~259,
 283
 東院下層遺構 15,16,36,37,52→斑鳩宮
 『東院資財帳』 36,90,170,171,173,177,
 181,196~198,220,257,458
 →仏経并資財条
 道音寺 111
 道後温泉<伊予> 110,237
 東寺 244
 (唐)招提寺
 244,260,305,307,327,329,338,452
 ——金堂大棟 482
 『東征伝』 304
 東大寺 74,145,161,168,182~184,187,
 191,199,235,236,244,245,260,262~
 265,281,282,289,305,308,310,312,313,
 316,322,323,325,329,336,337,351,352,
 410,423,439,456,469,478,479,488
 ——戒壇院 329,338,460,471,473
 ——大仏殿 435,437
 『東大寺統要録』 336
 東大寺年中行事 336
 『東大寺要録』 199,207,208,270,352
 多武峰 281,437
 銅板法華説相図(長谷寺) 462
 東福寺 13
 ——遺跡 13
 堂方 376,437,442
 塔本塑像→法隆寺五重塔塑像
 道明寺<河内> 6
 遠江 122

土佐国 49
 トドコロ廃寺 108
 鳥羽山莊 452
 『とはずがたり』 341
 富ノ小川 5,357
 豊浦寺 75,78,81,91,93,199→建興寺

な

中井廃寺 111
 長尾街道 45
 中大厨子 449
 中ノ子廃寺 110,111
 中村廃寺<伊予> 110
 仲村廃寺<讃岐> 111
 長屋王家 31,233
 ——木簡 163,233
 穴闇寺 105→長林寺
 難波 7,8,46,158,165,166
 ——大道 45
 『南無仏舍利口訣儀軌』 477

に

濁池 7,239→三井池、氷室池
 西桜郷 275
 西郷(西里)
 9,11,264,409~412,414,416,424
 西里遺跡 9
 西山坂 46,48,241
 二条大路木簡 174
 『二条寺主家記』 352
 『日本三代実録』 233,252,255~258,260
 『日本書紀』 7,16,18~24,27,32,35,39,
 43~45,51,62~64,78,80,82,104,107,
 115,122,133,135,136,138,146,147,150,
 152,210~212,225,227,458
 『日本文徳天皇実録』 244,258
 『日本靈異記』
 5,30,51,57,94,116,470,471,476
 如意輪観音(信仰・図像)
 321,327,469,470,476,479
 如意輪観音菩薩坐像(顕真相伝)(法隆寺)
 320,326,327,477
 如意輪観音菩薩半跏像(法隆寺聖霊院) 441
 『如意輪講式』 470

『大安寺伽藍縁起并流記資財帳』	
	13, 43, 106, 112, 146, 160
大勧進	295
大官大寺	28, 62, 106, 145, 146, 216
『台記』	267
大経蔵	315
大后寺	281
醍醐三宝院	457
醍醐寺	191, 262, 264, 458
醍醐廃寺	105, 108
太子御記文	467
『太子伝玉林抄』(『玉林抄』)	212, 348~352
『太子伝私記』	10, 13, 18, 28, 35, 43, 46,
	48, 50, 91, 94, 95, 98, 99, 137, 238, 240,
	245, 267, 270, 272, 275, 278, 296, 307, 312,
	317, 319~321, 333, 352, 364, 372, 417,
	439, 441, 443, 446, 447, 451, 460, 464, 467,
	471, 472
太子道	
	3, 44, 46, 49~52, 57, 61, 148→筋違道
『大集大虚空蔵菩薩所問経』	309
『大乘院寺社雜事記』	473
太子和讃(九首和讃)	309
『大唐西域記』	469
大仏頂曼荼羅(奈良国立博物館)	454, 455, 457
『大宝積経』	450
『当麻寺流記』	460
当麻寺	74
当麻道	8
高井寺(鳥坂寺)	83, 99, 136
高田駅家	229
竹原井	46, 48
高安	44, 49
——路	46
高市大寺	28, 106, 216
『竹取物語』	452
大宰府	174, 250
但馬国朝来郡枚田郷	228, 229, 342
橘(尼)寺	50, 188
橘夫人厨子	466
竜田	46, 406, 434, 435
——市	437
——川	3, 6~8, 45, 46, 240, 248

——宮	415
——越え	45, 46, 437
——御坊山一号墳	11
————三号墳	9, 10
——社・——神社(新宮)	45, 107, 372,
	406, 411, 412, 423~425, 436, 439
——大社(本宮)	45, 150, 241
——立野	107
——道	3, 6~8, 44~46, 48, 49, 236
——明神	362, 372→竜田社
——山	45, 46, 48
谷首古墳	33
玉野耶路	46
玉虫厨子	462, 466
多聞城	436
達磨寺	341, 460
達磨廟	341

ち

中宮	25, 62
中宮(尼)寺	25, 74, 81, 91~94, 103, 104,
	107, 115, 116, 139, 141, 188, 328, 341
——創建軒瓦	93, 94
『中右記』	270
調子丸塚古墳	28
超証寺	281
長林寺	105, 107
——の軒瓦	105
珍南荘<和泉>	381
珍南北荘<和泉>	345, 346, 349, 350, 353

つ

追儼会(鬼追い)	371
都祁の山路	46
対馬	78
津堂城山古墳	45
海石榴市	7

て

出開帳	192
寺山横穴群	12
天寿国繡帳(中宮寺)	328, 342, 458
——銘	18, 20
『伝述一心戒文』	193, 209, 252, 262, 469

『寺要日記』 207, 289, 308, 331, 333, 360,
364, 365, 369~371, 373, 374, 393, 397,
400, 411~413, 415, 422
寺要年中行事 365
成福寺 35
勝鬘会 264, 266, 267, 274, 310~313,
336~338, 345, 363, 370, 391, 399, 444, 445
『勝鬘会問答記』 337
勝鬘会堅義 310, 311, 313, 374
勝鬘經 462
『勝鬘經義疏』 223~225, 252
勝鬘經講讃所用 453
勝鬘經講讃図 445~449, 451, 452, 458,
459, 461, 463, 474, 475
勝鬘經講讃図(法隆寺三経院) 464, 465, 472
勝鬘經講讃図(斑鳩寺) 462
勝鬘經講讃図その一(法隆寺)
460, 461, 463, 465, 475
勝鬘經講讃図その二(法隆寺) 463, 465, 474
『勝鬘經疏詳玄記』 338
『小右記』 350
聖霊院観音宝号 308~310
聖霊会 171, 181, 182, 258, 266, 270, 287,
315, 363, 370, 391, 399, 444, 447, 472
浄瑠璃寺 277
『続日本紀』 27, 29, 34, 35, 43, 127, 131,
149, 150, 159~161, 163, 165, 170, 174,
175, 178, 180, 182, 183, 187, 199, 200, 207,
229, 235, 250
『続日本後紀』 244, 248
『諸山縁起』 460
『諸寺縁起集』 191
新羅 21, 80, 81, 94, 105, 160
新池 7
神護寺 244
真言律 474
『新撰字鏡』 276
『新撰姓氏録』 27, 121, 151
神代古墳 12
新堂廃寺 105
人法 400
新薬師寺
182, 183, 199, 244, 281→香山薬師寺

す

隋 261
瑞花院吉楽寺 488
崇福寺 89, 161, 182, 184, 199, 244
習宜池 242
——別業 242
筋違道 3, 42, 44, 46, 49~51→太子道
鈴鹿関 227
洲摩莊<摂津> 349
隅院 229→海竜王寺

せ

栖霞寺 456
摂津国(職) 21, 234, 235, 238
——菟原郡 234, 236, 342
——宇治郷 234, 235
——雄伴郡 234
——宇治郷 234
——宇奈五岳 234, 242
——川辺郡 236, 237
——住吉郡 181, 235
——西成郡 236, 237
——武庫郡 236, 237
勢夜里<大和> 48
禅衆(堂衆) 297, 298, 328, 333, 334, 371,
374~376, 378, 409, 415, 417
千手観音像(法隆寺西円堂) 449
善通寺 111
泉涌寺 460
千本釈迦堂 329, 473

そ

宗鏡寺 281
僧綱 342, 361, 374, 376
『僧綱補任』 170, 171, 179, 222, 264
造像記銅板(法隆寺) 146
『雑談集』 341
卒末呂王像(法隆寺聖霊院) 450

た

大安寺 28, 106, 145, 146, 160, 180~184,
187, 188, 191, 199, 209, 212, 219, 223, 235,
236, 244, 260, 281, 282, 305, 313, 336, 465

下太田廃寺 111
 下野薬師寺 170, 182
 下ッ道 44, 46, 49, 51, 61
 釈迦(信仰、浄土、念仏) 86, 87, 128,
 129, 211, 214, 218, 221, 295, 302, 304, 306
 ～311, 325, 327, 329, 354, 367, 369, 371,
 444, 447, 448, 450, 452, 455～458, 462,
 465, 469, 470, 478
 釈迦金輪 455～458
 釈迦三尊像(法隆寺金堂) 20, 86, 124,
 126, 127, 130, 132～134, 214, 215, 448, 466
 ——光背銘
 16, 20, 86, 124, 126～135, 210, 211, 468
 ——台座墨書銘 133, 134
 釈迦十六善神図(法隆寺) 476, 477
 釈迦如来像(法隆寺上御堂) 263
 釈迦如来像(法隆寺金堂) 448, 449
 釈尊糞掃衣(法隆寺献納宝物) 452
 『沙石集』 316, 340, 341
 舍利講 307
 舍利塔(法隆寺献納宝物) 266, 268～270
 『拾遺往生伝』 449
 十一面観音像(法隆寺金堂阿弥陀如来像
 台座画) 469～471
 十一面観音像(奈良国立博物館) 454, 458
 十一面観音来迎図 470, 471
 十七条憲法 287, 320→憲法十七条
 『宗林要文』 263
 宿曜師 446, 456
 修正会 271, 370, 371, 379, 413
 修二会 271, 333, 370, 371
 修二会学衆 371
 『請雨旧記』 415, 416
 正月心経会 413
 上宮王院釈迦念仏 307～311
 ——修二月会 344
 ——舍利堂前法華経転読 311
 ——御影堂千手供養法 310
 上宮王家 8, 11, 14, 18, 23, 25～32, 39, 43,
 44, 50, 62, 95, 96, 113, 114, 122, 124, 219,
 226～228, 237, 240
 『上宮記』 24
 上宮皇太子菩薩伝(延暦僧録所引) 212, 213, 220, 304

『上宮聖德太子伝補闕記』→『補闕記』
 『上宮聖德法王帝説』(『法王帝説』) 475
 『貞元新定釈教目録』 275
 成業
 300, 311, 328, 370, 374, 384, 417, 423, 424
 聖皇曼荼羅(法隆寺) 317, 318, 320, 321～
 324, 326, 329, 336, 363, 472～476
 『聖皇曼荼羅図記』 473, 474
 常住寺 244
 常州戚家村画像磚墓 77, 79
 聖神寺 244
 正倉院鳥兜下貼文書 229
 正倉院文書 124, 131, 152, 170, 179
 招提寺→唐招提寺
 浄土教 444, 447, 448, 458, 460, 463, 467, 478
 聖徳宮寺 193, 209, 226
 聖徳太子絵伝(法隆寺献納宝物) 93, 267,
 268, 279, 299, 304, 306, 311, 446, 447, 459,
 469, 470
 聖徳太子信仰(太子信仰) 16, 51, 173,
 175, 210, 216, 217, 221～223, 226, 260,
 267, 277～279, 287～307, 309, 313, 314,
 316～321, 327, 335, 337～340, 342, 344,
 361, 431, 440～442, 444, 447～449, 455～
 458, 460, 463, 467, 471, 473, 474, 478
 聖徳太子像(唐本御影・御物) 270, 271, 315, 472, 473
 聖徳太子像(広隆寺) 453
 聖徳太子像(薬師寺) 271
 聖徳太子像(孝養像)(法隆寺) 475, 476
 聖徳太子像(七歳像)(法隆寺)
 299, 300, 304, 446, 447, 451
 聖徳太子像(南無仏太子像)(法隆寺舍利殿)
 305
 聖徳太子像(法隆寺聖霊院) 278, 293,
 300, 301, 308, 370, 441, 446, 449～453
 聖徳太子寺 193, 209
 『聖徳太子伝私記(古今目録抄)』
 →『太子伝私記』
 『聖徳太子伝暦』 19, 20, 27, 29, 30, 43, 48,
 50, 51, 91, 98, 217, 240, 261, 262, 270, 304,
 305, 319, 361, 470, 475
 聖徳太子御影南無仏 305
 称徳天皇御山莊 242

金剛峯寺	6
『金光明懺法補助儀』	448
金剛力士像(法隆寺中門)	87, 148, 149, 315, 439
『今昔物語集』	51, 304
金堂御行餅下行注文	374, 414
『金堂日記』	271, 272, 278, 449
『金堂間私日記』	364
金銅宝塔→舍利塔(法隆寺献納宝物)	

さ

西海道	174
西寺<山城>	244
細字法華經(法隆寺献納宝物)	171, 172, 219~221, 223, 225, 261, 262, 278, 279
西条廃寺	111
西大寺	145, 161, 184, 198, 199, 209, 244, 260, 281, 282, 305, 313, 325, 328, 329, 336, 473
『西大寺叡尊伝記集成』	288
西明寺(唐)	218
西隆寺	183, 198, 199
蔵王堂	417
坂田寺	76, 77, 79, 80
相模国足下郡倭戸郷	228, 229, 342
桜池	7, 8, 12, 61, 239, 265, 447
開浦院	264, 266~268, 272, 274, 275, 447~449
——(院)三昧堂	264, 266~268, 272, 274, 447~449→法隆寺金光院
——曼荼羅堂	264, 267, 272, 447
開浦院住僧解	266, 445, 446, 448, 457
酒ノ免遺跡	12, 13
讃岐(国)	111, 122, 237, 238
——阿野郡	237
——鵜足郡	237, 238
——大内郡	237
——多度郡	237
——那珂郡	237
——三木郡	237
——三野郡	237
——山田郡	237
佐保田荘<大和>	349, 352
狭山荘・佐山荘<山城>	349, 351

山陰道	174
『山槐記』	457
三経院唯識講衆規式	377, 394, 395, 399
三経院唯識講衆規式并追加	398
『三経義疏』	311, 320, 339, 363, 370, 475
三経講(経)	311, 313, 363, 400
三蔵会	370, 372, 374
『三宝絵』	304, 448
三味荘<大和>	352
山陽道	174

し

椎木荘<大和>	349, 351
椎坂	48, 241
——北岡	48, 240, 241
椎(志比)坂路	46, 48, 240
慈恩会	370
慈恩会竖義	310, 313, 372, 374
慈恩大師像(薬師寺)	446
紫香樂宮	158, 165, 166
信貴山	424, 446~448
信貴山城	437
縮見屯倉<播磨>	122
地藏菩薩像(法隆寺聖霊院)	441, 466
『七代記』	95, 470→『四天王寺障子伝』
『七代記』(『大唐国衡州衡山道場釈世禅師 七代記』)	212, 217, 218
『七大寺巡礼私記』	270, 278, 279, 305, 341
『七大寺日記』	278, 341, 445
『七大寺年表』	149, 179
四天王寺	6, 19, 21, 30, 46, 161, 182~184, 188, 199, 212, 215, 234, 235, 240, 244, 251 ~253, 267, 282, 287, 322, 339, 363, 446, 449, 458, 459, 461
——式伽藍配置	68, 70, 91, 94, 104, 112, 114
——聖霊院	212, 277
『四天王寺御手印縁起』	234
『四天王寺障子伝』	212
四天王像(法隆寺金堂)	466
磯長(太子)廟	320, 340, 341, 467
信濃	31
島の山古墳	49
寺務拜堂大僧供曳帳	375, 378, 414

熊野山 282
久米田寺 455
九面觀音像(法隆寺) 454, 469

け

夏安居 251, 253~255, 376
慶花池 9, 12, 419→悔過谷池
『経国集』 193, 209
悔過谷池 421, 435→慶花池
華嚴海会善知識曼荼羅(東大寺) 469
夏衆 297, 375→禪衆
『建久御巡礼記』 279
建興寺 182, 199→豊浦寺
『元亨釈書』 258, 340
『顯真得業小双紙』 472
憲法十七条 132, 133
元明太上天皇一周忌供養 160, 161, 228

こ

小宅莊<播磨> 359, 428
小泉大塚古墳 10
孝恩寺 332
甲賀寺 166
高句麗 8, 19, 77, 80, 81, 90, 93, 110
江西中墓 77, 79
幸前莊<大和> 423
香山薬師寺 182→新薬師寺
皇太子御齋会奏文(法隆寺献納宝物)
169, 170, 176, 177, 181, 193~196, 198, 221
上野(国) 31, 122
——片岡郡 229
——山郷 229
——甘楽郡 229
——多胡郡 229
——山部郷 228, 229, 342
——緑野郡 229
上野国分寺 229
神南寺 351
神南莊<大和>
349, 351, 353, 405, 406, 410, 423, 433
興福寺 145, 161, 168, 182~184, 187, 190,
198, 199, 219, 220, 222, 230, 235, 239, 244,
260, 281~283, 285, 286, 288, 291~293,
305, 307, 308, 310~313, 317, 322, 328,

336, 345, 351~353, 356, 361, 383~385,
395, 404, 410, 423, 424, 433, 435~437,
441, 456, 460, 461, 464, 470, 478, 479
——一乗院 289, 292, 351~353, 461
——興善院 293
——光明院 345
——西金堂 168, 221, 285
——常喜院 325
——大乘院 351, 353, 457, 474
——竹林院 325
——中金堂 168
——東院 344
——東金堂 285
——南円堂 416
興福寺権別当 282, 289, 290, 309, 310, 345
『興福寺雑役免坪付帳』 352
興福寺別会五師 433
興福寺別当 283, 289, 290, 307, 309, 310, 345
興福寺維摩会 311
『興福寺流記』 191, 196
光明真言 371
光明真言会 331
広隆寺 99, 453, 455→蜂岡寺
五月一日経 166, 167
五ヶ村池 7
『五経正義』 224
『古今和歌集』 6
『虚空藏経』 309
虚空藏菩薩像(額安寺) 477
『虚空藏要文』 308, 309
極楽寺 10, 408
『古今一陽集』 66, 67, 73, 154, 155, 193,
275, 316, 331, 333, 356, 361, 464, 471, 475
『古今目錄抄』→『太子伝私記』
御齋会表白→皇太子御齋会奏文
『古事記』 4
五尊図(像) 321, 476, 477
『国家珍宝帳』 183
骨奈嶋<伊予> 237
『五八代記』 263
御坊山古墳群 12
駒塚古墳 9, 11, 28
小山麿寺 109
金光院→法隆寺金光院

上宮 18,32
 上宮遺跡 13,33~35,43
 神屋寺 35
 河内(国) 3,6,8,44~46,48,51,105,192,
 234,238,241
 ——街道 3,48
 ——国府 45
 ——磯長 51
 河内国和泉郡 342,343
 ——大県郡 236,237
 ——讃良郡 342
 ——志貴郡 342
 ——志紀郡家 45
 ——渋川郡 234,342
 ——高安郡 46
 ——日根郡鳥取郷深日松尾山 242
 ——古市郡 167
 ——茨田郡枚方里 119
 ——八部路 46,240
 『河内国細見小図』 45
 瓦塚古墳群 10
 ——一号墳 9~11
 ——二号墳 10,11
 ——三号墳 10
 川原寺 57,102,103,150,161,199→弘福寺
 ——式軒瓦 103,109
 川原宮 150
 勧学院 361,450,484
 元興寺 145,161,179,182~184,187,188,
 191,199,200,209,218,222,235,244,260,
 281,282,305,313,336
 ——縁起(『元興寺伽藍縁起并流記資
 財帳』) 18,80
 ——丈六釈迦像光背銘 18
 ——塔露盤銘 18
 『観古雜帖』 206
 勧修寺 291
 『感身学正記』 325,327,361
 観心寺蓮藏院 192
 勧進聖 471
 観世音寺<筑紫> 182
 『関東往還記』 288
 広東綾幡残欠(法隆寺献納宝物) 151
 『简要類聚抄』 352

観音(信仰、宝号) 221,222,266,271,
 302,304,308~311,341,367,444,447~
 449,452,453,467,469~471,478

観音講 271
 『官符宣記』 312,313,385,386

き

紀伊(国) 49,242
 来往廃寺<伊予> 110
 義疏談義 310
 既(気)多寺<播磨> 124
 北の横大路 45,46
 北室寺 330
 吉祥悔過 207,271
 吉祥御願御行旧記(『吉祥御願御行記録』)
 364,374,414

吉祥天像(法隆寺金堂)
 266,271,448,449,466

紀寺 109→小山廃寺
 ——式軒瓦 109

木之本廃寺 112,114

吉備池廃寺 112~114,216

木部莊<大和> 349,352

『行基年譜』 234

行信発願経 186

『玉葉』 308,457

『玉林抄』→『太子伝玉林抄』

金峰山 282

<

『公卿補任』 248

供花衆 298

艸墓古墳 33

孔雀明王像(法隆寺金堂) 454

救世観音(信仰) 284,309,450,474

救世観音像(法隆寺夢殿)

176~178,221,223,462

百濟 27,77,78,80,81,90,94,99,105

百濟大寺 28,106,112~114,216,219

区徳(久度)里<大和> 48

恭仁宮(京) 165,166,208

弘福寺 161,182~184,188,199,235,244,
 281→川原寺

熊凝道場 106,219

伊予湯岡碑文 18,110
 磐余池辺双槻宮 18,32,33
 『因明論疏記』 186

う

上野麿寺 110,111
 上宮 18,32
 上之宮遺跡 33
 太秦〈山背〉 99,227
 内代麿寺 110

え

永寧寺 73
 叡福寺 51
 殖栗王像(法隆寺聖霊院) 441,450,452
 惠慈像(法隆寺聖霊院) 441,450,452
 越後 122
 越前 122
 榎並莊〈摂津〉 343
 延喜講師 305
 『円照上人行状』 330
 延暦寺 244,251~256,260,262,281,282
 『延暦僧録』 212,213,220

お

応仁文明の乱 430,431,436
 近江(国) 29,95,102,122,235
 ——栗太郡 233,342,343
 ——物部郷 233,234
 ——野洲郡 349
 ——物部布津神 234
 大窪寺 152
 大坂道 44,45
 大坂山 46
 凡河内山〈摂津〉 234
 太田莊〈播磨〉 359
 大谷池 417
 大塚山古墳 45
 大津道 8,45
 大野丘北塔 74
 岡本寺 10,94→法起寺
 岡本宮 22,25,53,61,62,91,94,95,97,115
 隠岐 122
 小田原寺 277

小墾田宮 49,50
 小治田大宮 125,188→小墾田宮
 園城寺 282,460

か

甲斐(国) 28,31
 海会寺 114
 『開元釈教録』 166
 海住山寺 308,471
 戒壇院 323
 『懷風藻』 19
 海竜王寺 229→隅院
 額安寺 105~107,219,325
 ——の軒瓦 106,107,218
 ——班田図 106
 ——文書 13
 学衆(学侶・学道衆) 297,298,374,376,
 378,392,394,409,415,417
 『嘉元記』 267,331,350,351,356,360,
 361,364,376,377,383,389,391,393,397,
 401~405,407,408,410,413,415,417,
 419,423~425,433~435,479
 笠置寺 308
 懼(恐)坂 48,49
 春日社 352,416
 春日信仰 469
 加須加多池〈摂津〉 234
 春日宮曼荼羅 476
 片岡 51,210,211,341
 ——王(僧)寺 105,115,116→放光寺
 ——大寺 146,147→放光寺
 ——司 233
 ——村 5
 ——山 28,48,51,340
 ——山辺道 51
 片岡莊〈播磨〉 116,358,359
 『カタカンナ双紙』 361,411,421
 片桐城 5
 片野池(鹿田池) 12,239,421
 葛城莊〈大和〉 349,352
 葛城尼寺 188
 藁田池 239
 神岳神社 241
 上御霊社 436

事項索引

あ	
明石浦<播磨>	236
赤淵神社<但馬>	229
飽波葦垣(牆)宮	13, 25, 43, 62, 91, 141
——郡	44
——郷	43
——宮	13, 25, 34, 43, 208, 209
——村	44
飽波(阿久奈弥)評	140
葦垣宮	91→飽波葦垣宮
芦埔宮	35
飛鳥	3, 39, 42, 44, 49, 50, 62, 105, 130, 148, 167, 285
飛鳥寺	22, 57, 75, 76, 78, 80, 89~91, 145~147, 215, 222→法興寺
——所用軒瓦	75, 78
朝生田麿寺	110
『吾妻鏡』	283, 287, 305, 354, 355
阿弥陀(信仰、浄土、念仏)	86, 169, 221, 264, 268, 270, 307, 308, 444, 447, 467, 470, 474, 475, 478
阿弥陀三尊像(橘夫人念持仏)(法隆寺)	155, 156, 169, 221
阿弥陀三尊像(法隆寺金堂)	466~468, 474
阿弥陀如来坐像(法隆寺三経院)	447, 449, 464
阿弥陀如来像(法隆寺金堂)	86, 466~471
愛媛関	227
安堂麿寺	45

い	
伊賀	46
斑鳩(郷)<大和>	48, 124
斑鳩大塚古墳	9, 11
鵠太寺	146, 147
『斑鳩古事便覧』	35, 151, 195, 287
斑鳩溜池	7, 12, 239, 240
鵠田横田莊<大和>	349

斑鳩寺	15, 16, 22, 23, 25, 39, 52, 53, 61, 62, 64, 66, 82, 91, 115, 118, 124, 135~137, 169, 173, 261, 354, 357, 359, 431, 432
『斑鳩寺雜記』	169
鵠尼寺	91, 92→中宮寺
鵠莊<播磨>	115~120, 287, 292, 312, 313, 332, 344~346, 353, 355, 356, 358, 380, 381, 383, 386, 425~428, 430, 431
鵠莊絵図→法隆寺領播磨国鵠莊絵図	
『鵠莊御庄当時日記』	353
『鵠莊引付』	353, 426, 429, 432
斑鳩(鵠)宮	12, 15, 16, 22~26, 30, 35~44, 46, 50~53, 61, 62, 64, 70, 79, 91, 94, 103, 134, 137, 144, 145, 161, 192, 216, 226, 227, 229, 240, 257
池尻寺・池後尼寺	94, 95, 188→法起寺
池辺大宮	125, 188→磐余池辺双槻宮
生駒(胆駒)山	26, 39, 45
石神遺跡出土木簡	130
和泉(国)	27, 114, 122
出雲	122
伊勢	46, 122
——神宮	33
板垣峯(嶺)<大和>	238, 239
一遍聖絵	340
猪名湊<摂津>	236
猪那部池	419
伊穂(保)莊<播磨>	349
『異本上宮太子伝』	212, 213, 217, 220, 262
今池瓦窯	93
伊米野<摂津>	234
伊予(国)	110, 111, 237, 238, 240
——伊余(予)郡	110, 237
——浮穴郡	237
——温泉郡	237
——風速(早)郡	110, 237
——神野郡	237
『伊予国風土記』	110, 237
——和气郡	110, 237

履中天皇	46	良尊	403
隆慶	295, 296	林幸	275, 276, 450
隆巖	277	臨照	190
隆邇	450, 453	隣信	189
隆詮	295, 296, 317～320, 417, 467, 474	れ	
隆遍	386		
良覚房	433	靈尊	189
良寛	387	令弁	146, 147
良暁	387	わ	
良訓	151, 155, 176, 193～195, 197, 198		
良恵	335		
良盛	346		
		和気真綱	246～249, 254

一行家 283
 一義経 283, 284
 一頼朝 280, 283, 287, 354, 355
 一頼政 281
 三成 26, 30
 美努王 154
 美濃王 107
 宮河八郎 350
 宮地鍛師 29
 明一 213
 明恵 460
 三好三人衆 435, 437
 三好長慶 436
 三輪文屋君 26, 39, 227

む

無住 340
 無性 341
 正月王 250, 251
 連万(麻)呂 31, 136

も

毛利氏 432
 以仁王 281, 282
 木工則清 443
 物部氏 226, 233, 234
 ——連兄麻呂 29
 ——守屋 19, 20, 210, 213, 234, 286~288
 森田龍僊 457
 文徳天皇 258
 文武天皇 19, 156, 157, 161, 162, 168

や

宅部皇子 11
 八木四郎左衛門 383
 柳澤孝 454
 山背大兄王 11, 15, 16, 18, 23~27, 38, 39, 95, 99, 134, 173, 226, 227, 441, 452, 461, 465, 475
 倭馬養首某 39
 山名氏 431
 ——宗全 436
 山直 122, 124
 ——恵志 124

——枝 124
 ——恵得 124
 ——乙知女 124
 ——臣古 124
 ——国足 124
 ——古麻呂 124
 ——小弓 123
 ——土麻呂 124
 ——麻呂 124
 ——安麻呂 124
 ——山持 124
 一君 122
 山部氏 122, 141
 山部連 14, 62, 121~124
 ——殿 121, 139, 153
 ——赤皮 123
 ——直 122
 ——加之ツ支 123
 ——子人 123
 ——五十戸婦 121, 139, 141
 ——嶋豆古連公 121
 ——宿祢東人 122
 ——比治 123
 ——人足 123
 ——三馬 123
 ——連猪子 121
 ——連公奴加致 121, 140
 山本三郎覺譽 427

ゆ

有厳 325
 有尊 474
 雄略天皇 27, 122
 弓削 30, 136
 弓削(義)王 23~25, 98, 99

よ

栄叡 212, 219
 用明天皇 16, 18, 20, 25, 32, 52, 65, 86, 126, 127, 214, 250, 319, 475
 吉重(初代・二代) 483→橘吉重

り

李元恵 220

波止利女王	23
針間直	123
範円	292, 294~296, 309~314, 316, 345, 370, 460, 466, 467
範玄	282, 345
範守	350, 381, 383
範俊	449
範信	309, 373

ひ

日置王	23, 24
比企朝宗	283
氷高内親王	156~158→元正天皇
敏達天皇	20, 21, 23
日奉部奴比	123
平子鐸嶺	64, 136

ふ

不空	458
福亮	95, 96, 465
藤津王	250, 251→登実藤津
普照	212, 219
藤原氏	145, 157, 161~163, 165, 168, 174, 175, 222, 229
——宇合	162, 165, 174
——鎌足	222
——光明子	145, 154, 157, 162~168, 221, 222→光明皇后
——岳雄	246, 248
——嗣宗	248
——豊嗣	246, 248
——房前	162, 165, 177, 178
——不比等	145, 154, 157, 162, 168, 174
——松影	248
——麻呂	162, 165, 174
——道長	6, 45, 344
——通憲	307
——宮子	157, 162
——武智麻呂	162, 165, 174, 242
——宗広	457
——良房	248, 250, 257
——頼経	315, 472
古市氏	436
古人大兄皇子	23, 39

へ

平氏(平家)	265, 280, 281, 283, 285, 286
平城太上天皇	158
平群氏	14, 104
平群臣	120
別所氏	432
弁聡	146, 147

ほ

穂井田忠友	206
法皇	128, 129, 132, 133→聖德太子
法王大王	18→聖德太子
法主王	16, 19→聖德太子
北条時頼	288
法大王	16→聖德太子
法然	302, 307, 340
宝祐	102
法蓮	332
菩岐々美郎→膳菩岐々美郎女	
細川顕氏	350
——勝元	436
——政元	436

ま

牧田連	229
——麻呂	229
正躬王	246~249
万須等	136, 137
松永久秀	435~437
円方女王	174
麻呂古王(山背大兄王の子)	23
麻呂子皇子	16
末呂女王(麻呂古王とも。聖德太子の子)	23~25
茨田皇子(王)	16, 24
満得尼	139

み

三嶋女王	23~25
御名部内親王	162
源実朝	287, 288, 305
——為憲	304
——弘	248

洞院実雄	322
道蒔	356
道果	139, 152
導御	330
道鏡	198, 199, 208
東宮聖德	16, 18→聖德太子
東宮聖王	125, 126→聖德太子
道元	302
道慈	106, 169~171, 180~182, 218, 219, 221, 223
道靜	264, 267, 268, 270~272, 274~276, 444~448, 451, 463
道詮	245, 256~259, 363, 400
徳聡	146, 147
刀自古郎→蘇我刀自古郎女	
舍人親王	174
登美(真人)氏	246, 250, 251, 253, 254
——直名	246, 247, 249~254
——藤津	250~255→藤津王
伴氏	253
一健岑	248
一宿祢胡満	253
一成益	246, 248
一善男	247~250, 252~254
止与古	139, 152
豊田中坊	436
豊臣秀吉	432
豊臣秀頼	440
豊聡耳	16, 18, 210→聖德太子
等与刀弥々大王	18→聖德太子
等已刀弥々乃弥己等	18→聖德太子
豊耳聡	16, 210→聖德太子
鳥仏師	130→鞍作鳥
な	
内藤成国	355
中大兄皇子	32→天智天皇
中見	30, 136
長屋王	31, 156, 158, 162~165, 168, 173~175, 184
難波麻呂子王	23
難波皇子(王)	21, 24, 25

に	
新田部親王	174
日延	456
日蘭	340
日蓮	302
如琳房澄空	329
仁階大徳	289
仁賢天皇	123
仁満	264
仁明天皇	244, 258
ぬ	
額田氏	106
——部氏	218
——連	14, 120
ね	
念禪	475
の	
能寛	387
能算	344, 456
野村徳七	67
は	
裴世清	7
箸尾氏	436
土師連娑婆	39
間人皇女	130→穴穂部間人皇女
間人連大葦	107
橋本経亮	192
長谷(泊瀬)王	23~25
波多	30, 136
秦(造)氏	14, 227
——大津父	227
——河勝	32, 227
——中家忌寸	227
——人高麻呂	229
一致貞(秦致真)	93, 267, 299, 446, 447, 459
畠山政長	436
——持国	436
——義就	436
泊瀬部皇子	20→崇峻天皇

仙命 449
善祐 448
宣陽門院親子 315, 472

そ

増覚 317
惣持 328
宗性 337, 338
蘇我氏
8, 11, 16, 22, 23, 37, 94, 95, 157, 222, 227
——石寸名 16
——稲目 16
——入鹿 15, 16, 23, 24, 26, 30, 32, 39, 173
——馬子 11, 20, 22, 23, 459, 461, 465, 474
——蝦夷 23, 24, 32, 38, 39
——小姉君 16
——堅塩媛 16
——刀自古郎女 23, 25
則天武后 220
曾祢連韓犬 107
卒末呂王 24, 441, 452
尊円 295, 314~316, 472
尊智 461, 469, 475~477

た

平清盛 286
平重衡 478
高石新左衛門 350, 383
高岳親王 258
高倉宮 281
高橋 13
財王 23, 24
宝皇女 38→皇極天皇
竹田皇子 21
高市皇子 162
但馬公永尊 434
多智奴女王 24
橘氏 482, 485, 487
一大郎女 23~25, 328
一古那嘉智 155, 171
一佐為 154, 174
一大夫人 154
一逸勢 248
一正重 482

一諸兄 154, 158, 165, 174, 175, 223
一吉重 482, 483→吉重
田村皇子 23, 24, 38, 43→舒明天皇
多目皇子(王) 16, 24, 25
田目連 26, 27
達磨 340, 341, 470, 471, 475
湛舜(堯禪房) 356, 406, 435
湛照 289

ち

智勝 317
千早定朝 193
澄空 473
長賢 258, 259, 400
重源 265, 308
調使(子)丸 27~29, 319~321, 326, 327, 475
長耀 264
珍賀 456
珍海 478
珍也 456

つ

春米女王 23, 24, 27
調首 27, 28
調使氏 27, 137, 261
——王 27
——首 27
——首難波麻呂 27
——家令 27
——足人 28
——麻呂 27, 28, 51, 137
——部 27
調連 27
筒井氏 436
——順慶 436, 437
——順昭 436

て

手嶋女王 23~25
天智天皇 102, 162, 262
天武天皇 144, 156~158, 162, 168

と

十市氏 436

持統天皇 144, 156, 158, 168
 倭文連高山 123
 下水(君)雜物 99, 136
 下部犬熊丸 433
 宗懷 328
 重懷 360, 361
 重親 385
 寿仁 258
 俊嚴擬講 356
 淳仁天皇 158
 乘印 189
 定慧 222
 璋円 328, 345, 464
 乘円 338
 定円 328, 342
 定海 453
 乘觀 189
 証空 329→澄空
 上宮(厩戸)豐聰耳太子 16, 121→聖德太子
 上宮聖德皇子 46→聖德太子
 上宮聖德法王(皇)
 19, 171~173, 188→聖德太子
 上宮太子 18, 19, 321→聖德太子
 上宮太子聖德皇 18→聖德太子
 上宮法皇 20, 128~130→聖德太子
 貞慶(解脱上人) 307~309, 311, 313, 324,
 325, 371, 460, 470, 471
 勝賢 276, 450
 定好已講 289
 聖弘得業 283
 定算 393, 394
 定真 274, 419
 定朝 404
 聖德王(皇) 19, 211→聖德太子
 聖德太子 5, 8, 10, 11, 13~16, 18~32, 34,
 35, 38, 43, 46, 48, 50, 51, 62, 63, 65, 86, 91,
 94, 95, 97~99, 106, 107, 110, 112, 115,
 121, 126, 129, 130, 132, 133, 136, 144, 145,
 169~174, 177, 178, 181, 192, 193, 210~
 217, 219~224, 226, 227, 237, 241, 245,
 252, 256~258, 261, 262, 269, 266~268,
 270, 272, 277~279, 284~288, 293, 299~
 301, 304~307, 309, 311, 317~321, 325,
 328, 339~341, 344, 353, 355, 361~363,

370, 371, 400, 441, 442, 445, 451, 452, 459,
 461, 462, 467~470, 474~476, 478
 称德天皇
 34, 43, 145, 198, 199, 207~209, 226, 242
 勝福 189
 聖宝 262~264
 勝鬘夫人 452, 445
 聖武天皇 48, 145, 154, 155, 157, 158,
 162~166, 169, 174, 175, 177, 180~183,
 228, 252, 255
 舒明天皇 23, 38, 43, 106, 216
 白髮部王 23~25
 白河太政大臣 257→藤原良房
 白河天皇(院) 449, 452, 455
 信円 292
 真雅 262
 信空 325
 信慶 344
 信如 92, 328, 341, 342
 真如 258, 464
 信融 348
 親嘗 115, 343
 親鸞 277, 302, 339, 340

す

推古天皇 22~25, 38, 43, 49, 50, 115, 126,
 147, 214, 311, 328, 353, 458
 菅手古王 24
 酢香手姫皇女 16
 菅原氏 289
 崇峻天皇 11, 16, 21
 住吉仲皇子 46

せ

清寧天皇 123
 成宝 291
 聖明王 319
 清和上皇 260
 関野貞 64, 88
 禪円 420
 善愷 246~249, 252, 254, 255, 259
 善寂 356
 専心 471
 暹尊 277

け	
慶政	295, 314~316, 323, 324, 329, 345, 459, 460, 464, 466, 467, 469, 472, 473
慶範	459
慶祐	434
玄雅	335, 346
源義	274
憲経	388
玄鏡	189
巖暁	400
兼光	291, 293
賢広	189
源春房	424
玄奘	370, 478
元正(太上)天皇	48, 155~159, 161~163, 228
憲信	380, 381
顕真	18, 28, 29, 95, 296, 317~323, 326, 327, 387, 417, 451, 452, 460, 463, 467, 471~475, 477
彦祚	446, 456
玄宗	217
顕宗天皇	123
源朝	197
玄昉	166
元明(太上)天皇	156, 157, 159~161, 168, 228
こ	
興円	449
公円	295, 296
晃円	343
甲可王	23~25
皇極天皇	39→齊明天皇
孝謙天皇	158
公寿	381
康勝	467
光定	252, 262, 469
孝仁	186, 187
康仁	320
上野法橋	293
幸聖	333
幸禪	295, 296

高師直	434
高師泰	434
公範	193, 344, 352, 353
弘法大師	321, 339, 363, 463, 467, 476, 477→空海
光明皇后	15, 145, 154~156, 164~175, 177~179, 181, 183, 184, 193, 218, 220~222
虎関師鍊	340
後嵯峨院	315, 318, 322, 323, 424
後白河院	277, 282, 354
小杉樞邨	64
巨勢氏	21, 473, 474
——德陀古臣(德太)	39, 228
後醍醐天皇	433
後藤基清	355
後鳥羽上皇	355
近衛家	315
近衛兼経	314, 323, 472~474
近代王	24→長谷王
許母(薦)	30, 136

さ

佐為王	154→橘佐為
西園寺実氏	345, 350
三枝(末呂子)王	23, 24
最澄	262, 303, 339
齊明天皇	102, 150→皇極天皇
佐伯定胤	67
佐伯連広足	107
境部臣摩理勢	24, 38
嵯峨天皇	158
佐々(女)王	23~25
三郎大夫	479
佐富(保)女王	24, 25

し

思託	213
実円	339
実懷	346
実懸	424
実禪	361, 393, 394
実然	195
実報寺氏	427, 428

春日皇子	21
片岡(岳)女王	23, 24
片桐且元	440
片桐氏	5
葛城王	24
葛城王	154→橘諸兄
葛城氏	21
——臣	110
——当麻倉首広子	16
——伊比古郎女	16
金子(十郎)家忠	354~356
賀宝	291
香美(鏡)	30, 136
上道臣牟射志	29, 30
上宮大娘姬王	24→春米女王
亀田孜	473
賀茂比売	174
輕皇子	156→文武天皇
革衣	30
河内山贈太政大臣	176→藤原房前
河(何)見	30, 136
寛延	263, 264
寛助	455
鑑真	212, 213, 219, 253, 307
願清	189
觀峯	264
菅政友	63
桓武天皇	121, 141
き	
義演	263
窺基	370
木沢長政	436
紀氏	21, 109
岸熊吉	67, 88
鬼前太后	20, 128~131→穴穂部間人皇女
喜田貞吉	64
堅塩媛→蘇我堅塩媛	
北白河院陳子	315
北畠治房	64, 66
北室良勝房	433
紀女王	174
紀貫之	6
吉備内親王	156, 158, 163, 164

吉備臣	123
黄文王	174
久円	343
慶円	455, 466
行基	234
経源	277, 450, 451, 453
堯実	346
教仁	400
経尋	197, 290, 410, 419, 456
行信	15, 37, 169~171, 173, 176, 177, 179~182, 185, 186, 195, 221~223, 278, 363, 387, 400, 447
行尋	334
教禪	465
堯尊	323, 326, 473, 474
凝然	338
教仏	331, 371
強弁	317
敬(教)明	212
欽明天皇	16
<	
空海(弘法大師)	264, 303, 321, 339
草賀部姉子	295
草壁皇子	156, 162
草衣之馬手	136→革衣、馬手
九条家	315
九条教家	464
九条道家	314, 323, 472
百濟開師	99
——入師	136
——開師	136
久原房之助	66
来目皇子(王)	16, 250, 251
倉田文作	467
鞍作鳥(鞍首止利)	22, 128~130
黒川真頼	64
黒女	31, 136
久波太(桑田)女王	23, 24
桑原貞久	355, 356
桑原母子	356
訓海	348

	19, 90, 110, 441, 452, 461, 465, 474
惠施	95, 96
惠仙	121, 140
慧聪	90
惠徹	189
慧範	282
惠美押勝	198, 199, 207, 208→藤原仲麻呂
榎室連	121
円覚	330～332
延幹君	385
円重	385
円照	323, 326, 329, 330, 338, 346, 350, 473
円晴	325
円仁	253
延鳳	256, 258, 343
円明	99, 136
延朗	459

お

小姉君→蘇我小姉君	
淡海三船	209, 226
大海人皇子	26, 227→天武天皇
大炊王	158→淳仁天皇
大江親通	277, 445, 452
大窪史氏	141, 151, 152
——阿古	140, 151, 153
——五百足	151
——石弓	152
——牛甘	152
大伴氏	253
——国道	252, 253
——古麻呂	253
——吹負	46
大友皇子	157
大部屋栖野古連公	30
大原史	14, 120
大宮女院姞子	322
大吉(凡)	30, 136
億計王	122, 123→仁賢天皇
弘計王	122, 123→顯宗天皇
忍海部女王	174, 175
忍海部造細目	122
織田信長	437
越智氏	436

袁智天皇	459→齊明天皇
小野妹子	176, 177, 214, 220, 221, 261, 284, 452, 461, 465, 475
——篁	248
小野玄妙	64
首皇子	156, 157, 162→聖武天皇
尾治(張)王(山背大兄王の子)	23～25
尾治王(敏達・推古の子)	23

か

懷賀	346, 387
懷曉	415
戒重(階重)西阿入道	404, 433
戒如	325
鉤取王	164
覚印	317, 450, 453
覚延	405
学智	459, 461, 465, 475
覚懷	387
覚曉	295
覚憲	307
覚賢	151, 194, 195
覚嚴	269
学春	325
覚盛	325, 329
覚盛(絵師)	464
覚真	471
覚晴	351
覚増	295, 296
覚長	345
覚遍	310, 345, 466, 471, 473
覚弁	293
覚養	344
花山院師繼	328
炊屋姫	20, 21, 23→推古天皇
膳(臣)氏	10, 13, 14, 21, 27, 62, 113, 114, 134, 137, 261
——臣斑鳩	13
——臣傾子	23, 27, 32, 113
——臣清国	29
——臣摩漏	62
——菩岐々美郎女(膳妃・膳夫人)	10, 13, 20, 23～25, 27, 113, 130, 467, 474
干食(王)后	128～131→膳菩岐々美郎女

人名索引

あ	
青木重元	355
赤沢朝経	436
県犬養氏	167
——橘三千代	
153~156,165,167~169,172,174,221	
赤松氏	428,431
赤松義村	431
飽波氏	141
——評君	14,62,120
阿久奈弥評君女子	140
——書刀自	139
足利尊氏	427,434
——直義	434
——義詮	434
——義政	436
安宿王	174,175
安宿真人	168
足立康	65
穴毛知	123
穴穗部間人皇女(皇后・太后・鬼前太后)	
16,20,24,25,32,91,467,468,474,475	
穴穗部皇子	11,20
阿倍氏	33,113,114
——内麻呂	21
——倉梯麻呂	113
阿倍内親王	158,169,170,175,176,178,
179→孝謙天皇、称徳天皇	
安倍安仁	248
尼子晴久	431
い	
石寸名→蘇我石寸名	
石田茂作	52,67,68,109
伊勢阿部堅経	26,27
石上乙麻呂	49
磯部女王	24
一条天皇	320

市辺押磐皇子	122
一遍	340
伊東忠太	88
井戸氏	436
伊止志古王	23
位奈部橘王	23~25→橘大郎女
印南野臣	29
犬養(甘)	30,136
伊予来目部小楯	123
う	
上田秋成	192
菟道貝蛸皇女	23
菟道磯津貝皇女	23
菟田御戸部	27
——諸石	26
内山氏	427,429
宇野氏	432
馬養造	29
——人上	29
馬手	30,136
馬屋古女王	23
厩戸豊聡耳皇子	16
厩戸皇子→聖徳太子	
浦上村宗	431
え	
英憲	433
栄西	302
叡実	332
永俊	189
叡尊	288,324~327,329,335,361,474,477
栄範	322
殖栗皇子(王)	16,24,441,452
惠厳	341
江崎政忠	67
慧思(惠思)	211~214,217,219~221,
226,262,279,321,339~341,470,471,475	
慧慈(惠慈)	

綾村 宏（あやむら ひろし）

①1945年 京都府生 ②京都大学大学院文学研究科博士後期課程単位修得退学(日本史) 文学修士

③京都女子大学文学部教授 ④『法隆寺の至宝 8 古記録・古文書』（共編、小学館、1999年）『石山寺の信仰と歴史』（編、思文閣出版、2008年）

執筆担当：第5章第3節、第6章第3節、第7章第1節

梶谷 亮治（かじたに りょうじ）

①1947年 島根県生 ②九州大学文学部哲学科美学美術史専攻卒業 ③奈良国立博物館名誉館員

④「平家納経雑感」（『鹿園雑集』第2・3合併号、2001年）「「勸修寺繡帳」覚書——法隆寺金堂壁画と聖徳太子信仰の接点を求める——」（『聖徳』第233号、2017年）

執筆担当：第7章第2節

執筆者紹介・執筆担当

①生年・出身 ②学歴 ③現職 ④主要業績

鈴 木 嘉 吉 (すずき かきち)

①1928年 東京都生 ②東京大学工学部建築学科(日本建築史) ③奈良文化財研究所名誉研究員
④『法隆寺』(小学館、1964年)『上代の寺院建築』(至文堂、1971年)『法隆寺東院伽藍と西院諸堂』(岩波書店、1974年)

執筆担当：第2章コラム

.....(以下執筆担当順)

岩 本 次 郎 (いわもと じろう)

①1935年 大阪府生 ②大阪市立大学文学部史学科(日本古代史) ③元帝塚山大学人文科学部教授
④『奈良県史4・条里制』(共著、名著出版、1987年)『北浦定政関係資料』(共著、奈良国立文化財研究所史料42、奈良国立文化財研究所、1997年)『播磨国鶴荘現況調査報告総集編』(共著、兵庫県揖保郡太子町教育委員会、2004年)

執筆担当：序章、第1章第3節、第2章第5節、第3章第6節

渡 辺 晃 宏 (わたなべ あきひろ)

①1960年 東京都生 ②東京大学大学院人文科学研究科国史学専門課程博士課程単位修得退学(日本古代史) 文学修士 ③奈良文化財研究所副所長 ④『平安時代の不動穀』(『史学雑誌』98-12、1989年)『平城京と木簡の世紀』(講談社版日本の歴史04巻、2001年)『平城京一三〇〇年全検証——奈良の都を木簡からよみ解く——』(柏書房、2010年)

執筆担当：第1章1節、第3章第1～4節、第4章1節

森 郁 夫 (もり いくお)

①1938年 静岡県生 ②國學院大學文学部史学科(考古学) ③元帝塚山大学教授 2013年逝去 ④『日本古代寺院造営の研究』(法政大学出版局、1998年)『ものと人間の文化史100 瓦』(法政大学出版局、2001年)『増補改訂版 日本の古代瓦』(雄山閣、2005年)

執筆担当：第1章第2節、第2章第1～4節、第7章第3節

東 野 治 之 (とうの はるゆき)

①1946年 兵庫県生 ②大阪市立大学大学院修士課程修了(日本古代史) 東京大学博士(文学) ③日本学士会会員 ④『遣唐使と正倉院』(岩波書店、1992年)『日本古代金石文の研究』(岩波書店、2004年)『聖德太子』(岩波ジュニア新書、2017年)

執筆担当：第2章第6節、第3章第5節、第4章第2節

久 野 修 義 (ひさの のぶよし)

①1952年 大阪府生 ②京都大学大学院文学研究科博士後期課程研究指導認定退学(日本中世史) 京都大学博士(文学) ③岡山大学名誉教授 放送大学客員教授 ④『日本中世の寺院と社会』(稿書房、1999年)『重源と栄西』(山川出版社、2011年)「嘉暦年間における長洲訴訟記録について」(勝山清次編『南都寺院文書の世界』思文閣出版、2007年)

執筆担当：第5章第1・2節、第6章第1・2節

ほうりゅうじ し 上 — こ だい ちゅうせい 古代・中世 —
法隆寺史 上

2018(平成30)年3月22日発行

編 者 法隆寺

発行者 田中 大

発行所 株式会社 思文閣出版

〒605-0089 京都市東山区元町355

電話 075-533-6860(代表)

印 刷 株式会社 図書印刷 同朋舎
製 本

© Printed in Japan 2018 ISBN978-4-7842-1924-7 C1021